

学校だより 校訓 《やさしく かしく たくましく》



きむ清らっ子

教育目標 「ひとみ輝く、喜念心清らっ子を育てる」

令和8年 9月 9日発行

第6号

伊仙町立喜念小学校

伊仙町喜念1番地
TEL 86-2182
～台風下のグラウンド～

何気ない日常の取組から子供たちの成長を

校長 江口 義久

9月1日(火)、令和8年度2学期がスタートしました。

8月末に襲来した台風18号では、多くの方々が何らかの被害を被られたかと思いますが、まずは夏休みの間、交通事故や水難事故等の報告もなく、無事に2学期がスタートできたことにほっと胸をなでおろしております。そして、皆様の生活が一刻も早く通常の形に戻れますことを願っております。

さて、昨年度も申し上げましたが、2学期は一年間の中で最も授業日数の多い学期であり、様々な教育活動が計画されていると同時に、1学期以上に子供たちの成長が期待される学期です。

2学期は、1年間で一番長い学期となり、その分、行事などもたくさん予定されています。その行事を通してみなさんにも大きく成長をしてほしいと願っています。

そこで、みなさんの成長につながる2つのことを2学期はがんばってほしいと思います。

1つめは、「あいさつ」です。

喜念小にはもともと「立ち止まって 自分から あいさつ」と児童玄関に貼られていたと思いますが、なぜ、あいさつが大切だと言われるのでしょうか。

実は「あいさつ」には2つのとても大切なことが含まれています。

それは、「あなたがいることを私は気付いていますよ」として「あなたのことを考えていますよ」という思いです。あいさつをすることで、その思いを相手に伝えることができる。だから他の人と仲良くなるためには「あいさつ」はとてもよいものなんですね。

そんなとてもたいせつな「あいさつ」であれば、相手にしっかりと伝えたい。なので、「立ち止まる」「自分から」そして「相手の目を見る」ことができるといいですね。さらに、元気よくできれば🌸です。

校長先生も、朝、県道の横断歩道のところで皆さんと会いますが、あらためてあいさつのよさを考えながら、大きな声でのあいさつを心がけたいと思います。みなさんも大きな声で返してくれると嬉しいです。

2つめは、「くつのかかとそろえ」です。みなさんはくつ箱の自分のくつのかかとをきちんとそろえているでしょうか。

校長先生も時間のある時に見るのですが、毎日きちんと並べている人、急いでいたのかなあ、ばらばらになってしまっている人、様々です。

実は、この「くつのかかとそろえ」は、わたしたちにとって大切な力を育てるのにとても役立つと言われています。それは「思慮深さ」簡単に言うと「ちょっと待って」と、落ち着いて考え、行動がとれるようになる。そして、それは相手の事を考えられる力にもつながるのだそうです。そんないいことがある行動、やらない手はありませんね。ぜひ、みんなで取り組んでみましょう。



2学期も様々な教育活動を通して、子供たちが自分の変容(成長)を実感できるよう取り組んでいきたいと思っています。子供たち一人一人にとって「唯一無二の学校」となれるよう、引き続き保護者や地域の皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

商品券を
寄贈していただきました

伊仙町商工会・伊仙町商工スタンプ会様より、学校の環境整備のために一万円分の商品券をいただきました。子どもたちの使用する道具の購入に充てたいと思います。ありがとうございました。

力をつけるぞ 2学期 始業式

9月1日(火)

ここにこ登校です。

始業式では、4年生代表が「夏休みのがんばりと2学期の目標」を発表しました。行事がいろいろある2学期。それぞれが目標をたてて、すてきな思い出をつくっていきましょう。

2学期は、持久走大会にむけて

全校仲良く 集団下校



2学期前の PTA 愛校作業

8月23日(日)朝8時から
全校児童・保護者・教職員

に加え、地域の方々の御協力も得て、愛校作業を行いました。

みんなで こつこつ 草取り

協力してきれいな校庭に



〇 県児童生徒作文コンクール 町審査 〇

特選 1年：久林 誠大さん
// 1年：元田 理喜さん
// 2年：福永 夏紬さん
// 6年：山下 結希さん

入賞おめでとう！

〇 県理科作品展 町審査会 〇

特選 1年：山下 桜希さん
// 3年：山下 碧希さん

〇 南日本硬筆展 〇

推薦 1年 基山 笑愛さん
金賞 1年 山下 桜希さん
// 2年 福永 夏紬さん
// 6年 山下 結希さん

データでみる喜念小 令和8年度1学期 II 学力

◇ 学力(学力検査)の様子【概況】

※ 本校は少人数校なので、必ずしも数値と個人の現状が合致するわけではありません。

(1) NRT(全国標準学力検査：PBT)教科の傾向・・・偏差値は50が中央値、観点別・領域別は全国を100とする

教科	偏差値	観点別 (全国を100とする)	領域別 (全国を100とする)
国語	50.0	▼知識・技能 98.6 ▼思考・判断・表現 98.0	▼「読むこと」76.5▼「書くこと」94.4
社会	46.2	▼知識・技能 91.3 ▼思考・判断・表現 85.0	※ 学年での系統的領域なし
算数	48.0	▼知識・技能 97.6 ▼思考・判断・表現 82.4	▼「数と計算」78.4▼「図形」85.2▼「変化と関係」66
理科	47.0	○知識・技能 101.3 ▼思考・判断・表現 79.3	▼地学 88.7▼物理 82.3▼化学 93.7
期待値	51.1	⇒ 教科偏差値が期待値を下回り、全体として昨年度より低い。偏差(学習定着差)は拡大	

(2) 全国学力・学習状況調査【令和8年4月実施 PBT(紙ベースのテスト)】現6年生

教科	本校	県比	全国比
国語	69.0	+8.0	+8.1
算数	61.0	+6.0	+4.6

▼ICT・新聞活用、休日の学習時間が全国よりも低い。

○ 無回答が低い。

○ 自己肯定感・有用地、学力の必要性については全国よりも高い。

(3) 鹿児島学力・学習状況調査【令和8年1月実施 CBT(コンピュータを活用したテスト)】現6年生

教科	国語	社会	算数	理科
本校	66.3	53.8	45.3	57.6
県比	+14.6	-1.6	+2.3	-1.1

▼選択問題の通過率が低い。問題の意図を読み切っていない。

▼社会「思考・判断・表現」算数・理科「知識・理解」が低い。

○ 短答式・記述式は、県平均を上回る。

(1)は、4月に実施された2年生以上の結果です。期待値よりも低く出ているという事は、伸びしろは十分です。全校で音読・読書を推進していますので、本や活字に慣れ、自分のおもいを文字化できるように、音読・読書活動への御協力をお願いいたします。「教科書をすらすら音読できる」が目安です。算数・社会・理科については、前年度の学びを基盤に、今年度の学びが行われています。学校での授業の充実とともに家庭学習や予習復習の見守りもお願いいたします。(2)(3)は、今年度6年生の結果です。中学校に向けて定着を図りましょう。